

## 災害時要援護者への防災対策

阿部 善一 議員  
民主・市民ネット

**問** 国の防災基本計画では、障がい者や介護保険の要介護3以上の自宅で生活している人など「災害時要援護者」を対象とした情報伝達体制の整備など5項目からなる避難支援プランの策定を義務付けているが、その状況と個人情報保護法との取り扱いによる問題の解決方法を明らかにしていただきたい。

**答** 災害時要援護者の防災対策は、地域防災計画に位置づけているが、

本人の申告や市の保有するデータにより状況を把握し、安否情報の確認、救助救出、避難誘導を行い、安全を確保してまいりたい。

この場合、個人情報の活用が必要となるが、情報管理の問題などもあることから、現在、関係部局で個人情報取り扱いを含めた対応策を協議・検討している。

（答弁者 総務部長）  
その他の主な項目  
災害対策本部情報一元化  
公共施設や民間建物等の耐震対策

## 民間提案型公共サービス改革制度

小野沢 猛史 議員  
はこだて市民クラブ

**問** 行財政改革について、民間にできることは民間に委ねることが大きな潮流となっており、地方自治体が行う全ての業務について情報開示し、民間から提案をいただきながら、民間と一緒に考えることが重要なポイントと考えるが、官民でどの分野を誰が担うのがふさわしいのかということをしつかり議論する制度や事業を展開していく考えはないか。

はこだて市民クラブ  
行財政改革について、民間にできることは民間に委ねることが大きな潮流となっており、地方自治体が行う全ての業務について情報開示し、民間から提案をいただきながら、民間と一緒に考えることが重要なポイントと考えるが、官民でどの分野を誰が担うのがふさわしいのかということをしつかり議論する制度や事業を展開していく考えはないか。

**答**

障がいのある児童が、必要な訓練や療育などを早期に受けることは、将来の独立・自活にとって大切なことであり、利用者負担が増大したことについて、全国的に軽減を求める声が上がっている。

現在、利用者負担の軽減や事業者支援策などについて国が検討しており、今後国や道の対応を見極めながら検討を深めていきたい。

（答弁者 市長）  
その他の主な項目  
餓死・孤独死・自殺などの悲劇を生まない生活保護行政



知的障害児通園施設「うみのほし学園」

**答**

事務事業の見直しについては、行政内部における職員間で徹底した検証を実施し、行政として主体的に取り組むが、検証結果については公表し、市民意見を伺い、次のステップとして、民間からの提案制度の導入などについても先進事例等を参考としながら早い段階から進めていきたい。

（答弁者 総務部長）  
その他の主な項目  
市立函館病院のあり方  
いじめ問題に対応するマニュアル

## 事業見直しのための事業仕分けの導入

瀬尾 保雄 議員  
公明党

**問**

函館市中期財政試算では、急速な高齢化の進展による社会保障費の増大や、減税・景気低迷による市税の減少傾向や団塊の世代の退職による人件費の増大が見込まれているが、こうした中、根本的な事務事業の見直しを行い、よりムダのない効率的な財政運営をしていくために、事業仕分けを導入すべきではないか。

## 高波被害に対する今後の災害対策

遠山 俊一 議員  
南かやべ議員団

**問**

10月7、8日の低気圧による高波災害は、水産施設等で甚大なものとなったが、これだけの災害にも関わらず、災害対策本部が設置されなかったのはなぜか。

また、今後の住民の安全対策として、離岸堤や消波ブロックの大型化やかさ上げなど、海岸保全のため施設の抜本的見直しや点検作業が必要ではないか。

**答**

先の低気圧での高波は道路への越波によりパトロールができず、被害情報の収集に時間を費やしたものの、明け方には波浪が収まり、被害範囲が局所的であったことから、災害対策本部の設置をしなかった。

また、被害施設の点検や見直しは、北海道と協議を行い、より効果的な災害対策に努めてまいりたい。

（答弁者 市長）  
その他の主な項目  
コミュニケーションセンターの建設  
教育施設の整備

**答**

事業仕分けは、事務事業について、必要性や実施主体を根本的に点検・評価するものであり、行政の役割を見直す上で、有効な手法と考えている。

現在、取り組んでいる、シゴトまるごとチェックに事業仕分けの視点を取り入れ、市の全事業に対し、徹底した見直しを行うため、年内にも取り組みを開始していきたい。

（答弁者 総務部長）  
その他の主な項目  
新幹線開業までの準備  
情報化の推進  
函館公園の整備

## 日吉4丁目遊休市有地の活用策

出村 勝彦 議員  
市民自由クラブ

**問**

市立2高校の統合により北高校の土地が遊休地となるほか、廃園予定の日吉幼稚園、市営日吉4丁目団地立替えなどにより10ヘクタールを超える市有地が空き地となる。

交通の利便性の高いこれだけの市有地は、今後とも生じないと考えるが、将来これらの土地をどのように利用していくのか。

**答**

日吉4丁目の市有地周辺には、新外環状道路の日吉インターチェンジが設置され、これにアクセスする放射4号線など都市計画道路の整備も予定しており、道路整備に伴う移転代替地の確保など、様々な制約があるが、生活基盤が整った既成の市街地の中で、貴重なまとまった土地であると認識しており、地区の特性なども踏まえ、今後、活用策を検討したい。

（答弁者 市長）  
その他の主な項目  
2期目4年間の市政運営の市長の評価  
北高校の施設の市民開放



市立日吉幼稚園

市立北高校

**答**

当市の恵まれた水産資源を活用して新たな特産品を創出することは、漁業経営の安定・向上につながることから、新たな特産品開発を積極的に取り組んでまいりたい。

マツモなどの海藻は、技術開発や採算性の確保等の問題もあることから、今後事業化の可能性について、漁業協同組合と協議しながら検討してまいりたい。

（答弁者 市長・農林水産部長）  
その他の主な項目  
産学官連携によるガゴメを活用した商品開発の取り組みと市のかかわり

## 水産業をアピールできる特産品の開発

中市 敏樹 議員  
榎法華クラブ

**問**

現在、市では地域特産資源増産対策事業として、ガゴメを主体とした試験事業に取り組んでいるが、当市は地理的、自然的条件に恵まれ、多様な海藻類が生息していることから、特産品の開発として、管理が簡単で比較的軽作業であり、高齢者や専門知識の少ない若年層でも取り組めるマツモをはじめとした低・未利用海藻の養殖試験を行う考えはないか。



岩に生息するマツモ